

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称 第6回「元気センター(仮称)」建設委員会

2. 開催日時 令和4年7月4日(月) 18時30分から20時15分まで

3. 開催場所 松川町役場2階 協議会室

4. 出席者氏名 「元気センター(仮称)」建設委員

【建設委員】

- ・松川町議会 米山 郁子
- ・松川町社協 栗畑 孝弘
- ・身体障がい者福祉会 小木曾 茂
- ・公募委員 宮澤 武彦
- ・松川町議会 坂本 勇治
- ・松川町福祉を考える会 原 節子
- ・親愛の里松川 藤澤 恵
- ・松川町商工会 細田 勉

【設計担当業者】(リモート)

- ・玉川 幹夫、牧野 恵子、丸山 飛鳥

【事務局】

- ・塩倉 智文、伊藤 遼太、原 涼太

5. 議題(公開)

- (1) 基本設計の仕様検討について
- (2) その他

6. 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

7. 傍聴人の数

0人

8. 会議資料の名称

- ・第6回「元気センター(仮称)」建設委員会 次第
- ・継続検討リスト
- ・配置平面図
- ・イメージパース

9. 協議の概要

1. 開会 課長

2. あいさつ 課長

3. 会議事項

(1) 基本設計の仕様検討について

事務局、設計担当業者より説明。

(質疑)

事務局:車寄せはハイエースの運転席側までギリギリ隠れるという設計にできたということで宜しいか。

設計担当:宜しい。

事務局:駐輪場を設けた場所はイメージ図の大きい写真の左側の白い壁のところ为宜しいか。

設計担当:宜しい。

委員:2階の静養室に床の間が出来ているがこれは必要なのか。前回の図面にはなかったと思うが。

設計担当:トイレと静養室の間にトイレの配管が通るパイプスペースが必要になってくる。しかし、壁一面は使用しないため、使用しない部分を有効に活用するために設置した。部屋が少し狭くなってしまったため、精神的にゆとりができるスペースがあったほうが良いかなと考え、デッドスペースを上手く活用した。

事務局:そうすると物入れでも良いということか。

設計担当:物入れでも構わない。

委員:パイプスペースを西側に持ってくることはできないか。持ってくることができればより広く感じると思う。

設計担当:パイプスペースを西側の端に移動させることは可能だと思う。

このデッドスペースは物入れに使用するというで宜しいか。

委員:収納スペースが多くあったほうがありがたい。

設計担当:収納スペースとする。

事務局:収納スペースとパイプスペースの位置を逆に入れ替えたほうが良い。

設計担当:位置を入れ替える。

事務局:1階との兼合いは大丈夫か。

設計担当:問題なく変更できるはず。

事務局:他に何かあるか。

委員:建物東側の階段についてお聞きしたい。前回よりも段数が減っているように感じるが角度が急になったということで宜しいか。

設計担当:適正な角度で計算している。特に傾斜がきつくなつたという訳ではない。北側にある階段を主に使うようになるため、ゆったりした角度の階段を計算している。南の階段については非常用として考えているため避難の時などにしか使用しない。こちら側は急な階段を想定している。

事務局:現在、ハローミヤ東側に大きなコンクリートの擁壁があり、圧迫感がすごいとの意見を隣地の方から頂いた。今まではずっと我慢してきたけど今度建てるならできるだけそういうコンクリートの擁壁はやめてほしいとのことだった。そういったところもフェンスの位置等で変わってくるものなのか。

設計担当:今、フェンスを建てる位置は道路沿いを考えている。意見の中には斜度の上の部分につけたほうが安全ではないかという意見もあるが、そうすると結構高い位置にフェンスを建てるようになってしまう。近隣への配慮を含めると道路際に建てたほうが良いのではないかと思う。

委員:今の擁壁の位置と今度建てる擁壁の位置関係はどうなっているのか。今の擁壁の位置よりも道路が広くなれば問題はないと思うが。

委員:右上に花壇の断面イメージがあるがこれを見ると、少し後退しており、フェンスも低いため、圧迫感はないのではないかと思う。

事務局:東側を歩いて通ったときに中も見えてより開放的に映るようになると思う。

事務局:まちカフェを大きく変更したが、何か意見はあるか。

委員:庇の長さはこれが限界ということで宜しいか。

設計担当:宜しい。

委員:玄関には段差等はあるのか。

設計担当:段差はほぼつけないよう計画している。

委員:そうすると車で進入する際、ギリギリまで入っていけるということで良いか。

設計担当:良い。ただ、あまり寄せすぎるとぶつかってしまうので注意が必要。

事務局:外観のイメージ図で玄関の部分にある軒の上の物が車寄せということで宜しいか。

設計担当:宜しい。

事務局:2階の静養室と活動室3の場所を入れ替えてもらった際に廊下まで活動室3にすることはできないのかという提案をしたが消防法の関係で廊下は廊下として残しておかなければならないため難しいとのこと。活動室を使用する際は扉を開けることで少し広く使うというような工夫が必要になってくる。活動室3の広さはこの大きさが限界。

事務局:みんなのキッチンについて設計担当者から提案いただいたがこちらの方が動きやすく良いと思った。

委員:調理室はどういう方が使用するのか。

事務局:専門の業者が入る予定。毎日固定の業者が入るのか、日替わりで業者が入るのかそこについては決めかねている。

委員:社協等がそういった場所を使いたいといった場合はみんなのキッチンやまちカフェを利

用するということか。

事務局:そのとおり。

委員:みんなのキッチンやまちカフェのキッチンは普通の住宅にあるようなミニキッチンのようなもの。自分で食べたものの食器を洗うぐらいしかできないと思う。ここで調理は無理。

事務局:調理室は保健所対応とするためむやみやたらに人は入れない。営業許可のある人しか入れなくすることでそこを分けたい。

みんなのキッチンについては利用者の人たちが弁当を温めたり、簡単な料理等ができるスペースというような感覚で使っていただくような形になると思う。

おやつ提供スペースがあるが、それぞれの活動の一環の様子を見てもらえるという意味合いでみんなのスペースに出てきてもらう。

そこで誰でも使える交流のスペースと特定の人しか使えない調理室を分けをしている。

事務局:前回、設計担当業者から提案いただいていたおやつ提供スペースの設備についてどうか。

委員:みんなのキッチンはどういう目的で使用するのか。一般の方もいて、子供連れの方も自由に使うところという認識で良いのか。そこがイメージできていないため、併用しますとも言いきれない。感染対策等を考えたときに、日常的な対応ができるとありがたい。なので当初の図面のままお願いしたい。

委員:おやつ提供スペースは基本的に特定の人を使用するというで宜しいか。

事務局:基本的には特定の人を使用するが、空いている場合は他の方も使用できるスペースはある。

委員:プライバシー等の観点から分けはしたほうが良いのではないか。

事務局:今言われたようなご意見もちろん頂いている。利用される方のプライバシーの保護やある程度安心できる場所を確保した上で、いろいろな交流ができる仕組みづくりが大事なのではないかという意見が出てきた。

私たちとしてもプライバシーへの配慮はしつつ、人がなるべく交流できる仕組みとなるべく共有スペースを上手く使っていきたいなという思いがある。

委員:あえて外に出ていくような仕掛けを作るとなるとおやつ提供スペースはもっと外にあったほうが良いのではないかと思う。

委員:関連してお聞きしたい。みんなのキッチンとオープンキッチンの分けはどうなっているのか。

事務局:オープンキッチンに関してはまず、無人にするのか有人にするのかはまだ決めかねているが、まちカフェに人を配置するのは金額的に難しいと思っている。

あくまでまちカフェはカフェベースを想定している。

軽食を作ったりというのは想定していない。簡単な洗い物をしたりというような程度。

委員:キッチンのスペースはまちカフェの方が広い。

- 委員: そうすると有人にしないともったいないのではないか。誰か人がいないと、何に使えば良いのだろうと来た人に思われてしまいそう。誰かに頼んでカフェをやってもらおう等、はっきりしたほうが良いと思う。
- 事務局: 当初はまちカフェでもおやつ作り等もできるスペースとして想定していた。
- 委員: もしまちカフェにも人を置くとなるとこちらも保健所の許可が必要になるということか。
- 事務局: 営業の仕方にもよる。コーヒーマーカー等を置いてワンコイン置いてもらって、セルフでコーヒーを淹れてもらうという方式なら何かしらの許可は必要だと思うがハードルは下がると思う。
- 委員: オープンキッチンも一般の方が使えるならみんなのキッチンは専用にしたほうが良いのではないか。一般の方がみんなのキッチンを利用するとは思えない。
- 事務局: おやつ提供スペースが各々の占有スペースにあるとみんなのキッチンの役割は必要なくなってしまう。調理室で作った弁当をそのダイニングキッチンを利用して販売、その場で食べてもらえるスペースとして使用するのが一番ではあると思う。
- 事務局: そのあたりはどうか。
- 委員: 調理活動自体は頻繁ではないが、まちカフェのオープンキッチンを使用できるようにしてもらえればありがたい。活動を地域の方に見てもらいたい気持ちもある。まちカフェを使わせてもらえればみんなのキッチンでどうしてもという感じではない。
- 委員: みんなのキッチンを大きなダイニングテーブルにして、両サイドに洗い物ができるスペースがあれば良いのではないか。作るという考えではなくて、片付けるという考え方。流し台はいると思うが加熱器はいらないと思う。
- 委員: 逆にまちカフェのオープンキッチンを調理プログラムで使うとなると、入り口が狭い為使いつらいのではないかと思う。
- 目的を持った建物にしなくてはいけない。最初はみんなのキッチンで調理プログラムを実施すると思ったがオープンキッチンで行うとなった。そうするとオープンキッチンの方もみんなが作れるようなスペースにしなくてはいけないのではないかと思う。
- 事務局: そもそもしてみんなのキッチンはあるのか。まちカフェで調理等ができるため、いらないのではないか。
- 事務局: 作業が出来て、配膳が出来るような形が良いのではないか。
- 火が使えないとみんなのキッチンでは料理はできないため、ここで調理して運ぶということではできない。みんなのキッチンはダイニングだけにするというのは正しい気がする。片付けてもらうための流しだけ設置する。
- 委員: みんなのキッチンは何をするところなのか。みんなのキッチンに人を配置しないということならそれでいいと思うが就労支援 B 型を採用するという話もあった。
- 事務局: 就労支援 B 型は調理室のみになる。
- 事務局: まちカフェについても保健所の許可を取って何かをしようという想定は当初からしていない。

- 委員:パブコメでカフェ機能の充実という意見がいくつも出ていた。まちカフェにお客さんが来てくれるような工夫が大事になるかなと思う。
- 事務局:ここでカフェを営業するのは敷居が高いように感じる。例えば手作りのおやつをまちどまや軒下で無人で販売して、それを持ってまちカフェでセルフでコーヒーを飲んでもらうというようなイメージはつく。
- 委員:町民が来て集えるような場にしたいというイメージで良いか。
- 事務局:良い。
- 委員:少し高級な自動販売機等を設置すれば人はいなくても良いと思う。コーヒーだけでなく、町のお菓子屋さんともタイアップしながらお菓子を置いてみたりというのは良いかもしれない。方向性をキッチンとしないとどちらも中途半端になってしまう気がする。
- 事務局:カフェ機能の充実というのは非常に大事なことだとわかっているし、そうしたいと思っているが、いろいろな方がきて、オープンキッチンを利用すると思うか。
- 委員:ここで料理をすることはおそらくないと思う。作って持ってくることはあると思うが、ここで作るとなると一部の人は作れるがそれ以外の人は作れなくなってしまい、すごく不平等になってしまう。あまりここで調理をするというのは考えないほうが良いと思う。
- 事務局:まちカフェで人を配置してコーヒー等を販売するとなった場合、何も買わずにまちカフェ内にいる人には出て行ってもらわないといけな。非営業スペースにしないと自由な行き来はなしになってしまう。
- ただし、もしここで火を使うというようなことになるようだと事務室からは死角になってしまうため、誰かしらはまちカフェにいないといけな。
- そのあたりについても皆さんの意見を頂戴しながら、さっき言われたような少し高級なコーヒーが飲めるような自販機を置いたり、災害時に使えるような自動販売機も置きながら自由に過ごせるようなスペースが望ましいと思う。
- みんなのダイニングにキッチンが設けられた経緯としては、一般の人に靴を脱いで中に入ってもらい仕組みづくりが元々の目的だった。
- 委員:調理室で調理したものを配膳、そこで食べてもらうというような使い方になるのではないかと思う。
- 事務局:バイキング形式にして好きなものを取ってもらうといったことや初めからお弁当にして買ってもらうということもできると思う。
- そのあたりについては営業に入ってもらう方にどういう形態にしていくかを詰めていく。
- 大きな作業スペースがあってそこに配膳できるようにするのが一番いいかもしれない。
- 委員:みんなのキッチンで料理教室をやるとなればキッチンがあったほうが良いと思うが...
- 事務局:その想定はしていない。
- 委員:一般の人がここまで材料を持ってきて調理するのは考えにくい。家で調理して持ってくると思う。それと、まちカフェを無人にするならオープンキッチンがなくなってしまうが軽食くらい出るような自動販売機を設置するのはどうか。

- 委員: みんなのキッチンがなくなるのであればオープンキッチンは設置してもらいたい。
まちカフェ内に座席数がたくさんあるため、職員と利用者がここで調理活動をするとなるとスペース的にかなり厳しい。カウンターの椅子が動かせたりすることで作業台として使えるような工夫があればありがたい。
- 委員: 今のままだと対面でカウンターの椅子に座っているような図面になっている。
- 事務局: 加熱器を設置するかどうかというのは基本設計に必要なか。
- 設計担当: 基本設計では図面のままにして、実施設計で修正することはできる。
- 委員: おやつ提供スペースの調理場所をさらに充実させて、みんなのキッチンをなくして食べたりするのもおやつ提供スペースでやるというのはどうかと思う。放課後デイも常に使用でき、まちカフェでも提供できる。
- 委員: 「みんないっしょ」の考え方からみんなのキッチンを外に出したと思う。基本的にはおやつ提供スペースで食べるが、何か作ったときにコミュカフェの人たちにも手伝ってもらいながら一緒に食べながら交流するという狙いだったはず。
なるべく、孤立しない考え方にしていかないと、「みんないっしょ」の考え方が崩れていってしまう。
- 事務局: 当初、おやつ提供スペースにもちよつとした調理スペースがあったと聞いた。前回、みんなのキッチンを上手く使えれば出てくるきっかけにもなるんじゃないかということで今回こういう形になっているが、それをまちカフェでできればみんなのキッチンはいらないのではないかという議論で良かったか。
- 一 同: 良い。
- 委員: 当初、親愛さんはまちカフェで調理をするという話だったが、前回みんなのキッチンが出現したため親愛さんはみんなのキッチンを使って、まちカフェはもっとカフェ機能を充実させれば良いのではないかという話だった。みんなのキッチンの登場によって、当初と議論が変わってきた。
- 事務局: カフェ機能は当然充実させていきたいが、そのスペースを上手く使うこともあっていいと思う。そうするとみんなのキッチンに調理スペースはいらないと思う。
- 委員: コミュカフェの方々はどこで昼食を食べるのか。
- 委員: 好きなところで食べてもらおう。
- 委員: コミュカフェにはダイニングキッチンはいらないのか。
- 委員: 給湯設備があれば良い。
- 事務局: コミュカフェのお昼を作るのが目的の調理室。
- 委員: 中にはお弁当を持ってくる人もいるため、冷蔵庫と電子レンジはほしいと聞いた。
- 事務局: おやつになるようなものを週替わりでもってきてもらうような仕組みができて、カフェ機能が充実しつつ、オープンキッチンを誰でも使えるような環境であればみんなのキッチンはいらないということで良いか。
- 一 同: 良い。

委員: 予定を立ててこの日に使用するという使い方がしていないので大丈夫。おやつ提供スペースはおやつを提供するというシーンが毎日ある。その中でおやつ提供スペースだけでおさまりきらなかったりしたときにダイニングを使わせてもらうということと調理プログラムでまちカフェのオープンキッチンが使用できれば大丈夫。

まちカフェのカフェ機能として例えば町内のお菓子屋さんが月水金オープンしますということなら火木のところで私たちがやらせてもらえるのかそのあたりがはっきりしてくればその中に調理活動が入れられれば良い。

事務局: 事務室の西側にまちカフェにつながる通路があり、その中に展示販売コーナーというのがある。そこに野菜などを持ち込んでもらい、販売してもらうコーナーになっている。先ほどご提案いただいた意見についても展示販売コーナーで購入してもらって、まちカフェで食べたり、靴を脱いでダイニングまで持って行って食べたりするようなイメージを持ってもらえると良いかなと思う。調理室についてはまだ業者も決まっていないが、コミュカフェの弁当を作ってもらったり、ランチ営業をしてもらったりというイメージを持っている。

今までの議論はそういうことで良かったと思う。

事務局: みんなのキッチンについては今、意見を頂いたのでその方向で進めていきたい。それに伴って、放課後デイのおやつ提供スペースもある程度の設備は必要ということで宜しいか。

委員: 流し台とIHは設置していただきたい。

事務局: 承知した。

事務局: オープンキッチンにはオープンはあるのか。

委員: 備え付けのものでなくて良い。オープンレンジを使用しているのでそれがあれば良い。

事務局: 承知した。

事務局: 他に何かあるか。

委員: リビング-2を横にして、おやつ提供スペースを手前に持ってくればみんなのダイニングに近くなるし、調理をしてるのがみんなのダイニングから見える。その配置にしたほうが良いのではないか。

委員: おやつ提供スペースではあまり調理は行わない。あくまでもおやつを提供するためのスペース。

事務局: 調理をするスペースではないという認識を持っていただければと思う。

みんなのキッチンがなくなることでみんなのダイニングが広がる。

事務局: 他に何かあるか。

設計担当業者にお聞きしたい。

調理室の東側に壁が良いのか。

設計担当: 保健所対応になるため壁になる。中の様子が見れるように窓をつけようかなとは思っている。

みんなのキッチンに関して、施設間同士の交流につながると考えており、非常に大事だと思う。まちカフェは運用の方でどこまで対応できるかによると思う。誰がここで何をできるかというところがはっきりしてくると良いかなと思う。

事務局:カフェの運用が定まっていないというところが一番だが、カフェを有人で運用するというのは非常に難しいと思っている。そうなったときにカフェのオープンキッチンの部分を利用者が上手く使えれば、みんなのキッチンはいらないのではないかという話をしている。

設計担当:我々が考えているみんなのキッチンはみんなのダイニングと一体で使う場所になってくる。まちカフェは土間になってしまうため、施設利用者が使用するにはもう一度靴を履かないといけない。

施設利用者の方が使いやすいようにと考えるとここが良いと思う。

委員:広く町民が使うとなると、土間の方が使いやすい。施設利用者が使用するならみんなのキッチンの方が使いやすい。施設利用者と一般の方をある程度分けた考え方をしているかなければいけない。

事務局:まちカフェだけでなく、施設全体どこにでも一般の方に入ってもらいたい。みんなのダイニングにも一般の人が入ってきてくれるような仕掛けが欲しい。

委員:そう考えるとみんなのダイニングは狭いような気がする。まちカフェの方を使うとなると人を雇わなくてもよくなる。

委員:人がいないならまちカフェのオープンキッチンは必要ないのではないか。あすなろで使いたいなら調理台等もしっかりしたものが必要だと思うが誰もいない場所に調理器具等があっても無駄になってしまう。

委員:無人のカフェでいいかなと思う。まちカフェにキッチンがいなくなった分、みんなのキッチンの機能を充実させてもらえればそれはそれで良い。元々、我々は調理室が使用できるものだと思っていた。構想と設計が合わなかったが、ここでも何とかなるかなというような流れで今までもきている。

委員:まちカフェはもう少し食品を提供できるのかと思っていた。例えばソフトクリームやパフェ、かき氷等。食品の提供がないなら、そんなに大きなオープンキッチンはいららないと思う。

事務局:どちらかということになる。

事務局:検討させてもらう。私個人としては、事務所から目が届かないため、オープンキッチンのところで火を使うのは反対。みんなのキッチンに調理コーナーがあって火を使う場合は必ず誰かがいるという状態にしたほうが良いと思う。まちカフェについてはもう少し自販機を充実させて、販売コーナー等で買ったものを持ち込んで食べていただくというスペースにするというのが一つの案、もう一つがまちカフェに誰か常駐させて、まちカフェのオープンキッチンを充実。みんなのキッチンの方をダイニングテーブルくらいにしてみんなのダイニングを広くするかのどちらかだと思う。こちらでも業者に確認しながらどちらかに集約していくということで宜しいか。

一 同:宜しい。

設計担当:みんなのキッチンの方を重視するというで宜しいか。

事務局:現段階ではそうなってくるかと思う。

委員:場所が室内だと嬉しいと思っていた。そういう意味では最初に戻ったというか近い形になった。目が行き届くかつ、導線的にも効率的。みんなのキッチンが調理活動ができるスペースであれば嬉しいかなと思う。

設計担当:まちカフェの方がどこまでやるのかというのを町の方で議論いただければと思う。

委員:まちカフェでもう1点。トイレが男女別にある。男子の方に小便器のスペースがあるが必要か。小便器をなくせばスペースをもう少し広くすることができると思う。

設計担当:男性が兼用便器を使用すると汚れの問題等もあって、かなり掃除が大変だと思う。小便器はあったほうが良いと思う。

事務局:施設正面のイメージ図で軒下市場の軒をもう少し東に伸ばすともう少し上手く活用ができるのではないかという意見を頂いた。この図で言うと白い壁のところまで軒が広がるということで宜しいか。

設計担当:駐輪場をその部分に移動してしまっているため、軒下スペースとしては使用できない。

委員:軒下市場は何に使用する場所なのか。

事務局:自由に使えるスペース。近所の人が野菜を売ったり、イベント等にも使える。

委員:まちカフェのオープンキッチンがほとんどなくなるようなら、本の読み聞かせ等のイベントができる軒下が必要になってくるかと思う。こんな感じにしてもらえればと思う。

委員:事務室にかなりの数の椅子や机が並んでいるが、どこが事務室を使用するのか。

事務局:社協と親愛の里のそれぞれここに入るスタッフ分の椅子と机が用意されている。ただ、コミュカフェや出張ダイ等の職員は常に事務室にいるわけではない。

委員:地域協働コーナーというのはどういうスペースなのか。

事務局:自由に使っていただけるスペース。ここで仕事をしたり、打合せをしたりといったようなことに使用できる。もちろん、みんなのダイニングやまちカフェでもできるが、個室で仕事をしたいといった場合に使ってもらえればと思う。

委員:土足で入れるのか。

事務局:土足で良い。まちどままでは全て土足で入ることができる。ロビーからは上履き。

委員:事務所の関係だが、椅子、机が全員分ということだが、ここに全員で集まって会議をするということはあるのか。

事務局:まだそこまで詳細なことは決めていない。

事務局:事務室をフリーアドレスのような形で考えていたこともあった。実施設計の中でどうしていくのかを考えたい。

委員:机は1人1台じゃなくて構わない。会議等についてはフリースペースや活動室やリビングを上手く活用しながら行う予定。

委員:どうしても事務所が広く感じてしまう。

委員: スタッフ全員が事務所で仕事をするとなるとこのくらいの広さが必要かと思うが、コミュニティカフェや出張ダイでスタッフがなくなる。

事務局: オープン当初は町の職員も入る予定。フリースペースにしないと入りきらないと思っている。

委員: Wi-Fi 設備は入るのか。

事務局: 有線 LAN も欲しいとの意見もあった。どうしようかと思っている。

委員: 5 年先には有線はないのではないかと。2 階でも Wi-Fi が届かない部屋がないように工夫すればどこでも仕事ができるのではないかと。

設計担当: 全館 Wi-Fi の予定。

委員: 事務室は OA フロアということで良いか。

設計担当: その予定。

委員: すぐに無線になると思うが、無線ではダメなのか。

委員: すぐと言ってもここ 1~2 年の間になるわけではない。

事務局: 今の Wi-Fi は天井付けになっていて、屋根裏に配線を通すようになると思う。結局コンセントは必要だが、そこだけのためにいるかなという感じはする。有線 LAN を引くならいと思うが。

委員: OA フロアは必要だと思う。

委員: コンセントがいろいろなところに引ければ良いのではないかと。

事務局: そうすると床に配線が出てしまう。だから床下に配線を隠したいということ。

事務局: 他に何かあるか。

今日、みんなのキッチンとまちカフェの意見をいただいた。もう一度整理をしていきたい。

委員: 福祉を考える会でまちカフェについて何か意見があればお願いしたい。

委員: どういうふうに動いていいかわからない。私たちの中には年代的にこれからコミュニティカフェに参加できるような人が結構いるがまだ実際に行くという気持ちになっていないため、聞いても反応がない。まちカフェ、まちどまあたりにはいつでも行けるのかなという気持ちはある。

事務局: まちカフェに関しても自動販売機を置いておしまいとかコーヒーマーカーを置いておしまいとか、そういったつもりは全くない。まちカフェが充実するような仕組み作りは考えていきたいと思っているがここでケーキを作って提供といったような充実の方法はちょっと難しいかなと思っている。

委員: 女性が来たいと思える施設にならないとダメだと思う。

委員: 今、社協でフードバンクをやっている。ここでもフードバンクをやってみたりするのも面白いと思う。フードバンクで冷凍や冷蔵の物を保管できる場所がない。元気センターに置いてみてはどうか。

事務局: そうなると大きな冷凍庫や冷蔵庫を設置しなければいけない。あまり現実的ではない

かなと思う。

ただ、ケーキなんかは冷えていたほうが美味しいと思うので、ショーウィンドウ型の冷蔵庫は設置し

なければいけないかなとは思う。

委員: そうすると場所的にまちカフェのキッチンが難しいと思う。やはりみんなのキッチンを充実させていく方法が良いと思う。その分まちカフェは席を増やせば良い。

事務局: 1回整理をさせていただいて、またお示ししたい。スケジュールがタイト。また来週くらいに建設委員会をお願いしたいと思っている。改めて通知を送る。

本日はこれで閉会としたいが設計担当業者の方から何かあるか。

設計担当: 7月23日までに基本設計を終わらせてそれから実施設計を行う。間取り等の大きな部分については基本設計以降は動かさなくなってしまう。それを頭に置いてもらって調整いただければと思う。

事務局: 承知した。

他に何かあるか。

他に何も無いようなので本日の会議はここまでとしたい。

(2) その他

特に意見等はなし。

5. 閉会

(20時15分終了)